



One きふね

今、私たちの心は1つになる

済生会貴船福祉ケアセンター
所長 伊藤 弘行



日ごと温かさを感じる季節となりましたが、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は、大阪北部地震・西日本豪雨・関西を襲った台風21号や北海道東部地震など大規模な災害が各地で発生しました。

思えば平成は、記憶に残る大規模災害が数多く発生した時代ではなかったでしょうか。そのような中、ボランティアの活動が根付いた時代でもありました。貴船園においても各種行事や防災避難訓練にボランティアの協力無しには、園の運営が出来ない状況にあります。ボランティアの皆様方には、厚くお礼申し上げます。

さて、平成も残すところ2ヶ月あまり、5月には新たな元号で新しい時代が始まります。貴船園も勤務体制の見直しやICTの導入など新たな取り組みを始め、ご利用者の皆様が満足いただける施設を目指すとともに、職員が働きやすい職場環境を作っていきたいと思っております。

平成最後の初詣 心の冬にサヨナラして 走り出そう新しい明日へ

1月4日、忌宮神社へ初詣に行きました。鳥居をくぐると身が引き締まる思いがします。「これから始まる一年が良い年でありますように」と、皆様でお願いしました。



●目次

所長あいさつ、初詣P1
文化祭P2,3
敬老会P4
給食だよりP5
デイサービスだよりP6

セピア色の風景P7
わくわく職員紹介
(勤続20年職員)
行事写真
行事予定
編集後記P8



貴船園文化祭 ～秋を愛する人は、心深き人～

11月2日に貴船園文化祭を開催致しました。ご利用者様と職員で合作した作品の展示、生花クラブの展示、一昨年ぶりのフリーマーケット、居宅介護支援事業所による「福祉なんでも相談会」を行いました。また、臨済宗観音院様が飼育されているヤギさんも来園。今回のヤギさんは、立派な髭を生やし、愛くるしい仕草で遊びに来た皆さんを楽しませてくれました。

午後からは、鋸山（しころやま）親方（元関脇寺尾関）と現役力士の阿炎関、鋸山部屋から呼出の節男様、総合マネージャーの諸川様も来園頂きました。実際に阿炎関が登場する際の呼出等もご披露頂き、皆様の気持ちはもう国技館での観戦気分でした。

私達の願いであった阿炎関と相撲を行わせて頂きました！！園長始め当園から5名、貴船町自治連合会会長の内山様で対戦。職員は惨敗でしたが、目の前でのお取り組みに中庭に集まった入居者様、ご家族様、地域住民の方々から拍手と歓声を頂きました。

その後はサイン会、写真撮影も行い、集まった皆様やお部屋で待っていた入居者様の所も全て回られ握手をされていました。入居者様は、涙ぐまれたり、大きな体と手に驚かれたりと表情豊かでした。阿炎関も「うちの祖母と同じ名前！」「長生きしてね」など無邪気な表情と優しい声掛けで当園でもさらにファンを増やして行かれました。今期の活躍も貴船園一同で応援しています。
(生活相談員 佐々木 沙弥香)

文化祭 ぶんかさい 写真館





祝 貴船園敬老会

貴船園ご利用者の皆様、敬老の日おめでとうございます。健やかに敬老の日を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。今年は、百歳以上が4名、百歳になられた方が2名、白寿が3名、米寿が4名の方のお祝いがありました。みなさん素敵な笑顔で式典に参加されました。

式典の後には、和風コラボ『響』様のお祝いの演奏があり、素敵な音色に魅了されました。午後からは、各フロアで二人羽織や紙芝居、カラオケ大会、楽器演奏等を企画し、ご利用者、職員、沢山の笑顔があふれる素敵な会となりました。皆様の元気で素敵な笑顔が職員のエネルギーの源です。
(事務職員 藤岡 みゆき)



いつも輝いていた



給食だより ～おいしいなら手をたたこう～

調理室では、敬老会のお祝いの席にふさわしいようにと、腕を振るいお祝い膳をご用意させていただきました。献立は赤飯・吹き寄せ・天ぷら盛り合わせ・淡雪・河豚のたたき・お吸い物・旬のフルーツです。



常食



とろみ食

昨年5月より食事形態の見直しを行い、咀嚼力の低下した方や咽やすい方にも、少しでも食事が安全に食べやすくなるよう工夫をしてきました。また、見た目にも食欲が湧くよう、彩りや盛り付けにも力を注いでいます。

敬老会だけでなく、毎月の誕生会をはじめ、クリスマスやお正月の季節料理、日々の食事は楽しんでいただけているでしょうか？皆様の笑顔は私たちの元気の源です。これからもたくさんの笑顔にお会いできるよう食事作りに励んでいきたいと思ひます。

(管理栄養士 戸島 淳子)



クリスマスメニュー(常食)



クリスマスメニュー(刻み食)



クリスマスメニュー(とろみ食)



お正月食(常食)



1月誕生会メニュー(常食)



節分メニュー(一口大)

デイサービスだより ～ここに幸あり、青い空～

◆第1回 曜日対抗合唱コンクール◆

デイサービスには歌好きの方が多く、毎日カラオケを楽しまれています。「文化の日」にちなんで芸術『音楽』の秋をみんなで味わい、他利用者と絆を深めていただく事を目的に「曜日対抗合唱コンクール」を開催しました。月曜日は「赤い靴」、火曜日は「この道」、水曜日は「紅葉」、木曜日は「ふるさと」、金曜日は「夕やけ小やけ」と、各曜日毎に自分達で課題曲を決めました。職員の伴奏に合わせて皆様一致団結し毎週練習を行いました。本番はビデオ撮影を行い、後日に映像を見て各自1票ずつ投票を行い金賞、銀賞、銅賞を皆様で決めました。みんなで競い合う歌声は、聞き手を優しく包み込む太陽のようでした。

(理学療法士 岡本 健司)



銀賞 月曜日チーム



銀賞 火曜日チーム



銅賞 水曜日チーム



銅賞 木曜日チーム



金賞 金曜日チーム「夕やけ小やけ」

「二人でこの家で仲良く過ごしたい」

～私の存在どのくらい？広い背中に問いかける～ おかだ まさよ 周田 政代様 81歳

例年、セピア色の風景では貴船園へご入居いただいている方の登場が多くありましたが、今回は在宅でご主人と二人で生活をされています、岡田政代様とご主人様にお話を聞かせていただきました。

政代様は、物静かで優しい奥様で、貴船園では訪問看護・ヘルパー・ステーション・デイサービス・ケアマネジャーをご利用いただいています。気さくで愛嬌のあるご主人様もヘルパー・ステーションをご利用で、お二人とも誰が訪問しても、いつも穏やかに笑顔で迎えて下さいます。（お二人の笑顔は私共の癒しです）

政代様のご実家は旅館を営んでおられたようで、8人兄弟の下から2番目に生まれてお優しいご両親とご兄弟に囲まれて育てられたそうです。（政代様の優しいお人柄のルーツでしょう）子供の頃からお手伝いもされていたご様子です。

お二人の出会いは、政代様20歳とご主人様19歳の頃。お父様が経営する食堂をお姉様と二人で切り盛りしていた際に、3軒隣の下宿にご主人様が住まわれていたそうです。恋愛結婚をされていますが、お互いのご両親の反対を乗り越えて、出会いから7～8年かけてご結婚されました。

結婚生活についてお伺いすると、ご主人様の武勇伝が多く聞かれ、政代様はご苦労もされたようですが…。

「妻は大人しいが、締めるところは締める。」と、しっかりとお灸をすえられたエピソードもありました。（今の政代様からは想像できないお仕置きでした。）照れ笑いをしながら話をされるご主人様の横で「悪いでしょう？」とニコニコされているご様子も印象的でした。

残りの人生を二人でどう過ごされたいかをお聞きすると、「この家で静かな生活がしたい」とご主人様。政代様は「主人にはもう少しお酒を控えて欲しいですね。二人で仲良くこの家で過ごしたいです。」と話して下さいました。

お二人の穏やかなご自宅での生活がこれからも続くよう、微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思っております。お話を聞かせて頂いてありがとうございました。

（介護支援専門員 末村 安希子）



デイサービスで歩行練習



文化祭に参加

セピア色の風景



政代様とご主人様



ご両親お姉様と実家にて



実家に向かう列車の中



ご主人パスポート写真

どんな職員が働いているんだろう？！

わくわく職員紹介

こんなことをしているんだ！？

勤続年数20年おめでとうございます～誰かに必要とされたいから誰かの為に頑張ってます～



副所長 三輪 昇

貴船園に入職して勤続20年を迎えることができました。入職した当時を振り返ると、当時1歳だった娘がもう社会人となり働いているのだから、色々な事が変わった20年であったと思います。高齢者福祉も、措置制度から介護保険制度に変わり、貴船園の運営も山口県から済生会に移管されました。建物も新しく建て替えられました。自分は漠然と福祉関係の仕事がしたいと転職し、なかなか慣れず戸惑いながらの日々でしたが、今は副所長という立場になり、改めてこれまで関わってもらい支えていただいた上司や同僚、そして入居者様に感謝致します。残りの在職期間、これまでの良い経験や失敗した経験も生かし、精一杯出来ることをやっていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。

平成10年に入社し、勤続20年という節目を迎える事ができました。まさに平成と共に歩んできた20年間でした。これまでを振り返ると、介護職員としての研修等、貴重な経験をさせていただき、たくさんの思い出があります。

これから時代は平成から新たな時代へと変わりますが、諸先輩方から学んだ精神を受け継ぎ、貴船園の長い歴史を次の時代に繋いで守っていききたいと思ひます。

まだまだ未熟で至らぬ点多々ございますが、今まで貴船園に育てていただいた恩を少しでも返していけるように、これからも頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



介護主任 榎田健一

貴船園 行事の風景

感じ合えばすべてがわかる 言葉はなくても



足湯



絃楽会様



紅葉見学



華の会様



クリスマス会



お餅つき

行事予定

3月

- ・ひな祭り
- ・演芸会
- ・物故者慰霊祭
- ・家族会総会
- ・誕生会
- ・カラオケ
- ・生花クラブ
- ・折紙クラブ

4月

- ・お花見(戦場ヶ原)
- ・演芸会
- ・誕生会
- ・カラオケ
- ・折紙クラブ

5月

- ・玉ねぎ収穫
- ・第一幼稚園来所
- ・演芸会
- ・避難訓練
- ・誕生会
- ・カラオケ
- ・生花クラブ
- ・折紙クラブ

編集後記

「人間万事塞翁が馬」ある講演会で山中伸弥先生が好きな言葉として紹介されていました。『幸せや災いというのは予想ができないものだ。幸せだと思っていたものが不幸の原因になったり、災いの種だと思っていたものが幸運を呼び込むことがある』

人には心に響く言葉があります。今の悩みは些細なことだと。 広報委員会 岡本健司



訪問介護主任 加納佐和作